

花きの県別生産出荷概況(10月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	10月出荷見込み 千本		主産地	9月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	山形県	9.6 (95%)	レベッカ、オルガ、レモン、アバランジェ、ブッチーニ、エベレスト他	333 (114%)	141 (127%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	30	35	35
	北海道	9.8 (103%)	レベッカ、オルガ、メイフェア、エベレスト	7,239 (110%)	- -	新篠津村 (JA新しのつ)	20	30	50
	長野県	- -	セナ・アモール・マンゴー・レベッカ・プリマドンナ・ブッチーニ・ドリームランド・ツアリナ・サクラメント・ロッキーニ・バージニア・オルガ・フィネッセ・アルーラ・ダイナスティ・オレンジクイーン・ティエスト・フエコ他	1,000 (130%)	470 (130%)	佐久 伊那 諏訪 松本	30	30	40
ストック	山形県	42 (98%)	アイアンシリーズ、カルテットシリーズ、雪波、朝波 他	600 -	400 -	庄内地域 村山地域	5	20	75
	福島県	5.2 (100%)	波系、カルテット系、アイアン系 他	- -	- -	あいづ 会津みどり 会津いいで	5 25	20 35	75 40
菊	秋田県	32.3 (110%)	精の一世、岩の白扇、精の曲、スーパーイエロー、精妃、神馬	7,400 -	3,400 -	秋田やまもと 秋田みなみ 秋田しんせい 秋田おぼこ 秋田ふるさと	30	40	30
	栃木県	73 (106%)	精の一世、岩の白扇、精の枕他	1,200 (105%)	600 (105%)	大田原 小山 真岡 塩谷 他	40	30	30
	山梨県	4.1 (100%)	スーパーイエロー等	50 (83%)	47 (92%)	笛吹市(八代町)	30	40	30
	長野県	- -	松風の寿、三宝、笑の旭、香風、神馬、天守閣 他	1,000 (100%)	450 (100%)	佐久 諏訪	65	35	5
	熊本県	26.7 (101%)	神馬、美吉野、くれない等	248 (131%)	110 (171%)	鹿本	26	30	44
	宮崎県	34.8 (90%)	優花、岩の白扇、文化の旭、夏光花、神馬等	303 (97%)	- -	国富 都城 こばやし えびの市 尾鈴	30	45	25
トルコキ	秋田県	10.8 (104%)	ロジーナシリーズピッコロサシリーズセレモニーシリーズ他	2,098 -	965 -	かづの、秋田しんせい 秋田おぼこ、おものがわ 秋田ふるさと こまち	30	40	45
	福島県	10.6 (92%)	白八重 ピンク八重 パス紫	550 (98%)	480 (98%)	あいづ 会津いいで 会津みどり	40	30	30
	栃木県	5.0 (108%)	ボレロホワイト 一番星 他	180 (100%) -1-	80 (100%)	足利 小山 他	20	20	60

キ ヨ ウ	長野県	- -	八重各品種 パステルムラサキ パステルピンク	1,000 (110%)	315 (110%)	佐久 松本 伊那 諏訪 北信	50	30	20
	熊本県	19.4 -	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	565 -	80 -	熊本市 菊地 球摩 など	32	30	38
	宮崎県	2.9 (111%)	シュウクリーム	45 (76%)	19 (78%)	日向	35	40	25

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し	
アルストロメリア	一部の産地で大雨による湿害がみられているが、その他は概ね順調に生育しており、10月の出荷量は昨年より多い見込み。	現状	愛知、山形は高温の影響から、予定より出荷数量が伸びず8月より若干増加した程度。品種数も徐々に増加してきているが、本格的には10月からとなる見込み。数量の大きな増減がなく、一定の需要から安定した相場展開となった。
	気候も大分涼しくなり出荷本数は徐々に増加傾向に向かい品質的には発色も含め良い状況になる見込み。	見通し	夏の間、出荷を休んでいた茨城、福島の出荷も始まり各産地、出荷のシーズンを迎える。中位等級中心に数量がまとまり、上位等級も徐々に増加してくる。
	面積増と夏場の株養成が順調であったことから数量は暫時数量は増加する見込み。	大田花き	300,000本@75 FAJ 引き続き、長野、山形より入荷。葬儀・宴会中心の動き。
ストック	播種は平年並～やや遅れて始まった。生育は概ね良好であり、出荷開始は平年並～やや遅い見込み。	現状	現状出荷なし。
	育苗及び定植後の生育は順調に経過しており、8月上旬～中旬定植分は早い生産者で10月上旬から出荷予定。最低気温が低いので、昨年度に比べて10日前後出荷ピークが早まりそう。冬期～春期出荷は、現在播種から育苗中となっている。	見通し	中旬以降、始始める予定。山形産で一部8月の大雨で冠水したハウスがあり数量が1割程度減少の見込み。需要に関しては気温の低下とともに冬物商材の動きが活発になる見込み。
菊	みなみ・高温による抑制で若干の遅れがあるものの、中旬から下旬にかけては、神馬がピークを向かえまとまった出荷数量となる。黄色は一週間くらいの遅れあり。大雨の影響は今のところ特になし。	現状	月初より大きなズレなく彼岸需要に向けて各産地順調に増加。需要期は下位等級中心に例年並の販売。月末に向けて出荷量は減少するが、需要も落ち着いてくることから安定した取り引きとなる。
	生育は概ね順調。計画的に出荷される見込み。例年に比べて「精の一世」の奇形花発生は少ない。	見通し	長野などの高冷地物は日を追うごとに減少傾向。周年産地中心の荷姿になる見込み。白菊は秋系品種の「神馬」「精興の誠」「雪姫」の入荷量が増加し、月末には夏系品種の数量を逆転する見通し。主要各産地の出荷計画から昨年並みから若干の入荷増を見込む。
	生育順調。	大田花き	FAJ 輪菊白、愛知、長崎、栃木が中心の入荷。業務中心。品種は精の一世が中心だが冬菊も始まっていく。
	9月下旬以降順次減少し終盤に向う。今後の気象経過にもよるが、品種が切り替わりながら暫時減少出荷になる見込み。	東日本板橋花き	特に大きな需要なく動き鈍い。2L 80～
	概ね生育順調。草丈が若干短くなる見込み。出荷数量は昨年並み。ダラダラとした出荷になる見込み。	世田谷花き	天候にもよるが、秋冬の品種も始まる出荷はあるだろう。単価は保合。
規格はL中心となる見込み。9月の長雨の影響により、生育は遅れ気味の分と、気温が急に下がった分の開花の進みがあり、計画よりも前後する。また、年末の定植が台風関係の雨による遅れがある。出荷ほ場には雨の影響は少ないので、数量はほぼ変更なし。	東京フラワーポート	大きな需要もなく厳しい市場展開が予想される模様。	
トルコキ	おものがわ：よとう虫、大タバコガなどの虫が多く、丈も短いため無印品が多くなりそう。100ケース/日で遅れはなし。こまち：7/20定植分が遅れていて、無加温で咲けるか心配。この後の気温による。今出てきているものに関しては、丈が短く、枝数も少ない。300ケース/日。	現状	9月になり例年より気温が高いこともあり、産地により昨年ほどでは無いが前進傾向となった。取り引きに関しては彼岸需要、ブライダル需要中心に比較的稳定した動きとなる。
	10月中旬まで安定的な出荷がとなり、10月下旬以降は天候次第だがダラダラ出荷となる。7月下旬の集中豪雨及び高温によってしなやかな花が目立っている。白八重、ピンク八重などブライダル中心の品種構成となっているが、概ね八重80%、一重20%程度の割合。	見通し	産地により前進傾向が見られるが北海道、福島、秋田中心の入荷見込み。西南産地は10月中旬ころには福岡、長崎の出荷が始まる見込み。販売面ではブライダル需要主体の動きとなり例年並みの安定した取り引きが見込まれる。
	10月後半から本格的に出荷となる見込み。生育は平年並み。	大田花き	FAJ 前進しているため、後半にかけて品薄見込。ブライダル、葬儀が中心となる見通し。
		東京フラワーポート	ブライダル需要での引き合い多くなり堅調な動き。

キ ヨ ウ	<p>生育は気温の低下によりやや遅れ傾向。抑制作型が主体となるが極端な出荷ピーク無くだらだらとした出荷になる見込み。</p>	<p>東日本板橋花き 茨城県、栃木県からの潤沢感あり、高冷地天候によっては数量不足。</p> <p>世田谷花き 北海道は一段落。長野・福島・山形などから、八重系中心の入荷。</p>
	<p>生育順調で目立った病害虫被害も特になし。数量は、昨年年みの見込み。10月上旬から随時出荷が開始される。</p>	
	<p>高冷地(椎葉)からの出荷。彼岸向けに計画していたものが、雨の影響で生育が遅れている。上旬から量が徐々に増え、中旬がピークとなる。多い日(中旬)の日量は200ケース程度。それ以外は70~120ケース程度。品質は良好。</p>	